

教養コース ④ 国際社会学講座

文化人類学の視点から
多文化共生社会を考える

第2回

食生活からみたニューギニア
山地民の暮らし・文化・健康

講師 田所 聖志氏
東洋大学社会学部国際社会学科教授

日 時 11月13日(日) 13:30~15:30
会 場 鶴瀬公民館 第3集会室
講 師 田所 聖志氏
東洋大学社会学部国際社会学科教授
受講生数 20名



講 師 田所 聖志氏

はじめに

講師より自己紹介とパプアニューギニアの現在について触れる。

秋田大学で「なまはげ」を研究、2000年から2年間パプアニューギニアで生活。以前は日本から飛行機の直行便で6時間。

地下資源(金・銅) 20~30%を輸出。都市部では大型スーパー、都会的生活がみられる。さつま芋畑が鉱山開発で地元の人たちの変化→人とは何か?

①地元の身体観、健康とは何か

確認1：「健康である」とはどういう状態か？

3分で各自考えて講師に答えを返す。

<回 答>

WHOの憲章を参考に

病気でなく、精神的に充実している。

男鹿半島に住む老人の言葉：健康とは、人に迷惑をかけることだ。

パプアニューギニア・デワダでは：

- ・良い人とは病気になっていない状態の人
- ・災いにあっていない人
- ・性格の良い人、寛大である
- ・人に恨まれない

良くない人アフェ・パブリッキはその逆の人

健康についての捉え方→地域・文化によって異なる

身体観→包括的なもの



確認 2 : 人の身体の構造について説明してください

パプアニューギニア・ラワーダの人々は、身体は血と脂からなると信じている。

身体の活力の素は血 (take) と脂(yake)

血の状態の悪化は、女性との接触にある、女性の経血に由来する有害な物質の付着に影響と考える。

栄養となる血と脂を体内に補充し、血を正常な状態にするために瀉血することで健全な身体が維持される。

日本では5臓6腑11の中に実在しない臓器があると考えられていた。

時代、地域や文化によって異なる。



パンダナスの意味

- ◇ 「パンダナスは脂の多い食べ物である」
- ◇ 「パンダナスのソースには、脂 (yake) と肉 (me) がある」
- ◇ 「パンダナスを食べると身体の脂に変わる」
- ◇ 「パンダナスのソースはおいしい」

- ◇ パンダナスの果実やソースは贈与財に
- ◇ パンダナスは体内の脂を増やすのに効果的な食べ物とされる

パンダナスの共食

- ◇ 収穫の時期は12月～4月上旬
- ◇ パンダナスの調理は男性の役割。女性は食べるのみ
- ◇ 近親者が集まって祭宴を開いて共食する。



確認 3 : 健康的な食べ物はどのようなものですか

<回 答>

各自考えたのち、グループ討議後の答えは美味しい、身体をエネルギー維持、バランスよく、調理法、発酵食品を摂る。自分がおいしいと感じるのが大事。

食事バランスガイド～あなたの食事は大丈夫～

カナダ・イヌイットのカントリーフード (アザラシ・カリブー・イルカ・クジラ)、エチオピアのコンソ (穀類を発酵させたビールが主食)

生卵をご飯にかけるのは日本だけ

健康・身体観・健康的な食べ物の概念は地域、文化によって異なる。

「人の身体はみんな一緒」ではない。

② パプアニューギニア・テワダの人々の食べ物

パンダナスとはタコノキ属、南太平洋に数種存在、
葉を屋根の葺き材にする。栽培すると20メー
トルになる。沖縄のタコノキは食べられない。

講師は、初めて子どもたちが岩の上で赤いものを手掴みで食べている
光景を見て驚かれたそうだ。写真では動物の内臓をそのまま食べている
ように見えた。

果実パンダナスの調理法は、採取し竹筒を使用し、石蒸し。

パンダナス食の行動と意味

収穫時期は12月から4月上旬の6か月弱

調理の担当は男性で、近親者が集まって祭宴を開いて共食をする。
女性、子どもは男性たちとは別に食べる。

意 味

- ・脂が多い、美しい、パンダナスの果実、ソースは贈与財になる。
- ・パンダナスは体内の脂を増やすのに効果的な食べ物とされる。
- ・赤いパンダナスは血に変化

5. イモやバナナにかけて食べる。



パンダナスの果実の調理方法

1. 果実を収穫する。
2. 果実を縦に割る。
3. 加熱調理する。
4. 果実と水を混ぜてよく絞る。
5. イモやバナナにかけて食べる。

◆パンダナスの調理は、男性の役割

4. 果実と水を混ぜてよく絞る。



赤いパンダナス

- ◆赤いパンダナスのソースの「肉」は、身体のなかに入ると血に変化する
- ◆食べ物以上の意味
 - ◆イニシエーション儀礼（通過儀礼、加入儀礼）
 - ◆少年を「成人男性」という社会範疇へ移行させる
 - ◆カ（ihutane）を与える呪具として使用
- ◆近親者が死亡後、服喪期間中は食べられない。
- ◆服喪期間（男性や子どもは2年～4年、夫を亡くした女性は10年以上）
- ◆男性は、女性と子どもに隠れて共食する（連帯や結束）

疑問1

- ・食べ物以上の意味：少年を成人男性に移行させるイニシエーション儀礼（加入儀礼、通過儀礼）、力を与える呪具として使用。
- ・近親者が死亡後、服喪期間は食べられない。男性は女性、子どもに隠れて共食する→男性同士の連帯と結束を図る。
- ・赤いパンダナスは大きな役割がある。

疑問2

- ・実際にどれぐらい栄養があるのか？食事の調査…食べたものを量る
対象 2世帯1週間ずつ 食材（サツマイモ・タロイモ・バナナ・パンダナスのソース）結果 パンダナスの脂肪量が多いことが判明。
- ・身体観
① 血と脂 ②パンダナス ③中でも赤いパンダナスを重視

質 問

- ・アルコール依存症の増加は
- ・パプアニューギニアの食生活は高地、中間地、低地で同じか
- ・パプア入ギニアは文化人類学的にはどんな特徴があるのか
- ・社会制度、教育について
- ・子どもの栄養、健康状態は

報告 加藤久美子